

阿賀野川 えとこだより

aganogawa E-toko dayori



ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。

高森いざや神楽・山仕舞いの儀式(※平成 25 年 12 月 8 日・高森薬師堂で撮影)

もくじ

阿賀野川を中心とした流域のものがたりを紡ぎ出そう

- 特集1 平成25年度パネル巡回展
「阿賀野川と大地が織りなす光と影」[後編]
- 特集2 地域再発見講座(第11回)
「高森の丘から眺めた風景・神楽大地の恵み阿賀野川」
- 特集3 地域再発見講座(第12回)
「冬の上流域(宝もんめぐりたび)・産業遺産(伝説食米)」
- インフォメーション

8 6 4 2

上流域から下流域に至る
様々なものがたりの掘り起こしが
いよいよ大詰めを迎えます

新潟水俣病問題が今も続く阿賀野川流域の地域再生を目指して、平成21年から具体的な取組を開始した「阿賀野川えとこだプロジェクト」も今年で6年目を迎えます。

最初の2年間は、上流域を舞台にして、「草倉銅山」や「企業城下町・鹿瀬」を題材に、パネル巡回展や地域再発見講座を開催しました。同様に、中流域に活動の舞台を移すと、安田瓦や川砂利など「阿賀野川と大地が育んだ地場産業」を題材とした取組を展開します。

一昨年には、広大な新潟平野が広がる下流域を最後の舞台として、まずは交通の要衝だった「松浜」や「横越」の歴史を題材に、同様の取組を開催しました。そして今年には、下流域を代表する半農半漁の土地だった「岡方地区」や「津島屋・一日市」を舞台に、パネル巡回展や地域再発見講座を、いよいよ2月から開催いたします。

こうして、上流域から下流域まで5年以上かけて取り組んできた阿賀野川流域の様々なものがたりの発掘が、今回で一通り完了します。今後はそこから、どのような流域全体のものがたりを紡ぎ出せるかが問われています。

阿賀野川 えとこだ プロジェクト

昔の暮らし・風景がわかる
懐かしい貴重な写真を
お貸しください!

阿賀野川流域

●お電話にてご連絡ください!

昔の写真は、たとえ何気ない風景や日常のスナップでも、地域の歴史の変遷がわかる大変貴重な資料で、将来の流域にとってかけがえのない宝物になります。しかし、世代交代のたびに散逸・廃棄されているのが現状で、もしよろしければ写真の貸出にご協力願います。併せて、昔のお話もお聞かせいただくと幸いです。

TEL 0250-68-5424

●パネル作品などに活用!

写真はプロの手で電子データ化して永久保存し、パネル作品などに活用いたします。

五泉

阿賀野川・最後の帆船(五泉市笹場)
撮影:木村清氏、提供:木村昌巳氏

松浜

櫓手振りに向かう女衆(新潟市北区松浜)
撮影:昭和30年代、提供:松浜印刷所・寺山晃太氏

横越

4代目・横雲橋竣工(新潟市江南区横越)
撮影:大正14年、提供:中村善一氏

水原

阿賀野川・津原原場の砂利採取(阿賀野市分田)
撮影:昭和30年・村上孟氏、提供:村上直行氏

鹿瀬

阿賀野川と昭和電工(株)鹿瀬工場(阿賀町向鹿瀬)
鹿瀬工場タイムス昭和29年44号より

「阿賀野川えとこだプロジェクト」とは?

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(通称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川えとこだ! 憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。

(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第11号はいかがでしたでしょうか?

今号特集したパネル巡回展や地域再発見講座の舞台となった新潟市北区の岡方地区高森、そして新潟市東区の津島屋・一日市。かつて半農半漁で日々の暮らしを営んでいた農村も、現在では閑静な住宅街に移り変わり、少しずつ高齢化が進みつつあります。そんな中で、様々な地域住民の方々が、このFM事業に協力してくださり、何とか様々なイベントの開催を迎えることができました。

新しい年を迎えて、流域を舞台に活動を展開してきたFM事業も、そろそろ集大成を意識する時期に差しかりつつあります。次号ではその一端をお伝えできればと存じます。

阿賀野川えとこだより 第11号

発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2014年1月31日
企画編集:一般社団法人あがのがわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX.0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

「阿賀野川えとこだ! ブログ」
<http://www.aganogawa.info/>

リニューアルまであと一歩...





阿賀の春(昭和10～20年代/撮影:鈴木孝衛氏/提供:新潟市)※下流域の阿賀野川左岸。



高森の畑(昭和30年代/提供:品田幸一氏)



農村の牛(昭和30年代/提供:小武節子氏)



高森いざや神楽の獅子(昭和50年/提供:新潟市北区郷土博物館)



阿賀の春(昭和10～20年代/撮影:鈴木孝衛氏/提供:新潟市)※ヤツメウナギ漁に使う網を干している風景。下流域の阿賀野川左岸。

特集 1

平成25年度パネル巡回展

阿賀野川と大地が織りなす光と影【後編】

～大河と共に生きてきた半農半漁の地域～

阿賀野川右岸の岡方地区、阿賀野川左岸の津島屋・一日市。かつて大河と大地の恵みを存分に活かしつつ、半農半漁の暮らしが営まれていた地域では、新潟水俣病が表面化した昭和40年代以降に郊外化が進展し、現在では閑静な住宅街へと落ち着くも高齢化が静かに進んでいます。

平成25年度は、地域の皆さんからお貸しいただいた昔の写真を題材に、貧しくも皆で支え合って暮らしていたかつての生活の営みから、今も地域の絆を紡ぎ続ける伝統文化の継承までを描き出したパネル作品が完成しました!

大形漁協のヤツメウナギ漁(撮影:山口冬人氏)

【後編】が下流域を巡回!
昨年度の【前編】では「松浜「横越」の歴史を題材としたパネル作品を巡回展示し、好評をいただきました。今年度の【後編】では、かつて半農半漁の暮らしが営まれていた地域の歴史と生活を題材にパネル作品を制作しました。下流域の様々な施設を巡回展示いたしますので、ご覧いただければ幸いです。



写真●早春の堤防(昭和17年/撮影:鈴木孝衛氏/提供:新潟市)

■ミニパネル(*) 4月末までの巡回スケジュール

*ミニパネルは通常パネル(A1サイズ)の半分の大きさですが、内容は全く同じです。

展示期間	展示施設	展示時間・備考
2/22(土)～3/9(日)	松崎湯ったり苑	10:00～24:00
3/12(水)～3/26(水)	新潟せんべい王国	9:30～17:00
3/31(月)～4/11(金)	木戸病院	8:00～17:00 (毎週土・日曜休館)
4/16(水)～4/30(水)	下越病院	9:00～17:00

●企画・お問合せ先 一般社団法人あがのがわ環境学舎 TEL:0250-68-5424

■通常パネル 4月末までの巡回スケジュール

*5月以降のスケジュールは、次号の「阿賀野川え～とこだより」でご案内します。

展示期間	展示施設	展示時間・備考
2/22(土)～3/9(日)	岡方コミュニティセンター	9:00～17:00 (毎週土・日曜休館) ※2/22のみ9:00～13:00開館
3/12(水)～3/26(水)	新潟市立豊栄図書館	10:00～17:00 (毎週金曜休館)
3/29(土)～4/13(日)	横越老人福祉センター横雲荘	9:00～16:30
4/16(水)～4/30(水)	北地区公民館	9:00～17:00 (4/27〔日〕休館)

主催:新潟県 共催:新潟市 後援:五泉市・阿賀野市・阿賀町